

あっと驚く廃材アート

機那サフラン酒本舗「米蔵」

造形大卒業生が作品展



廃材を使ったアート作品など迫力ある作品10点が並ぶ。長岡市撰田屋の旧機那サフラン酒本舗「米蔵」で開かれている。高さ3・5メートルに及ぶカジキ

長岡造形大の卒業生で、栃尾地域の地域おこし協力

隊員として活動する加治聖哉さん(24)が制作した。建築現場などで出る廃材を活用している。展覧会のメインとなる大型のカジキは、海面から飛び跳ねる躍動感にあふれる作品で、光沢のあるうろこ

加治聖哉さんが廃材を使って制作したアート作品の展覧会
3日、長岡市撰田屋4

は金属の網で表現している。和島地域で飼育されるガンジー牛をイメージしたという新作なども並ぶ。

加治さんは「作品のイメージが、米蔵の木造の雰囲気によく合っている。コーヒーを飲みながら、楽しんで見てもらいたい」と話している。

8日まで。無料。6、7の両日は加治さんによる作品解説や、長岡造形大の水流潤太郎理事長とのトークショーがある。一部の作品は販売もしている。